

**「新・群馬県総合計画（基本計画）検討のための地域版県民アンケート」
集計結果について**

1 調査概要

- (1) 目的 新・総合計画（基本計画）における「地域別の将来の方向性」を検討するため、地域版県民アンケート調査を実施する。
- (2) 期間 2020年7月15日～8月28日
- (3) 対象者 県内在住者または通勤・通学者
- (4) 方法 ぐんま電子申請受付システムまたは所定の調査票

2 調査結果

- (1) 回答数 366件（有効回答数：359件）
- (2) 年齢別・性別

	1. 男性	2. 女性	3. 選択しない	不明	総計	割合
1. 15歳未満		1			1	0.3%
2. 15～19歳	2				2	0.6%
3. 20～24歳	8	6			14	3.9%
4. 25～29歳	10	15	1		26	7.2%
5. 30～34歳	20	7			27	7.5%
6. 35～39歳	11	10			21	5.8%
7. 40～44歳	42	16	1		59	16.4%
8. 45～49歳	50	9	1		60	16.7%
9. 50～54歳	29	8	2		39	10.9%
10. 55～59歳	31	5	1		37	10.3%
11. 60～64歳	36	4			40	11.1%
12. 65～69歳	14	2			16	4.5%
13. 70～74歳	7	1			8	2.2%
14. 75～79歳	4				4	1.1%
15. 80歳以上	2				2	0.6%
不明	1			2	3	0.8%
総計	267	84	6	2	359	100%

(3) 居住地別

	総計	割合
1. 前橋市	122	34.0%
2. 高崎市	47	13.1%
3. 桐生市	9	2.5%
4. 伊勢崎市	19	5.3%
5. 太田市	6	1.7%
6. 沼田市	8	2.2%
7. 館林市	6	1.7%
8. 渋川市	8	2.2%
9. 藤岡市	12	3.3%
10. 富岡市	19	5.3%
11. 安中市	3	0.8%
12. みどり市	5	1.4%
13. 榛東村	1	0.3%
14. 古岡町	9	2.5%
15. 上野村	0	0%
16. 神流町	8	2.2%
17. 下仁田町	6	1.7%
18. 南牧村	1	0.3%
19. 甘楽町	2	0.6%
20. 中之条町	8	2.2%
21. 長野原町	3	0.8%
22. 嬬恋村	1	0.3%
23. 草津町	0	0%
24. 高山村	2	0.6%
25. 東吾妻町	3	0.8%
26. 片品村	14	3.9%
27. 川場村	0	0%
28. 昭和村	0	0%
29. みなかみ町	4	1.1%
30. 玉村町	3	0.8%
31. 板倉町	3	0.8%
32. 明和町	0	0%
33. 千代田町	17	4.7%
34. 大泉町	2	0.6%
35. 邑楽町	4	1.1%
36. 県外	2	0.6%
不明	2	0.6%
総計	359	100%

(4) 職業別

	総計	割合
1. 高校生	0	0%
2. 大学生・専門学校生	1	0.3%
3. 自営業	16	4.5%
4. 会社役員・団体役員	56	15.6%
5. 会社員・団体職員	191	53.2%
6. 公務員	65	18.1%
7. パート・アルバイト・臨時職員	16	4.5%
8. 無職（専業主婦・主夫含む）	7	1.9%
9. その他	5	1.4%
不明	2	0.6%
総計	359	100%

9. その他：15歳未満、歯科医師、建設業

36. 県外：埼玉県、横浜市

3 調査項目

(1) 地域※に感じている政策分野別の課題（2つ選択）と選択した課題を踏まえた地域の10年後の理想の姿（自由記述）について ※地域とは、行政県税事務所単位の11地域をいいます。

＜政策分野別質問＞		
1. 防災・危機管理体制の整備	2. 中山間地域の振興	3. 地域文化の振興
4. スポーツの推進	5. 生活の利便性向上	6. こども政策の推進
7. 健康増進	8. 福祉の充実	9. 医療の充実
10. 自然環境保護	11. 森林・林業振興	12. 農業振興
13. 産業経済の発展	14. 観光振興	15. インフラの維持・整備
16. 教育の充実	17. その他（	）

(2) 各地域固有の課題について（自由記述）

＜地域別質問＞	
1. 前橋地域	
(1) 赤城山の振興について	
(2) 中心市街地のにぎわいについて	
2. 北群馬渋川地域	
(1) 伊香保温泉を核とした観光誘客について	
(2) 果樹振興について	
3. 佐波伊勢崎地域	
(1) 多文化共生について	
4. 高崎・安中地域	
(1) 6月1日に「Gメッセ群馬」が高崎駅東口にオープンしました。「Gメッセ群馬」に期待することは何ですか。	
(2) 「温泉記号」は、磯部温泉が発祥の地です。このことをPRして、誘客や地域の活性化を図るには、どのようなことをしたらよいと思いますか。	
5. 多野藤岡地域	
(1) 交通結節点としてのメリットを活かした産業・観光の振興について	
(2) 藤岡市の山間部及び奥多野地域の人口減少への対応について	
6. 甘楽富岡地域	
(1) 富岡製糸場等地域内の観光資源を活かした地域振興・観光振興について	
(2) 甘楽富岡地域における防災・減災対策について	
7. 吾妻地域	
(1) 自然災害（浅間・白根山の噴火、大雨による土砂災害など）発生時に備えて必要だと考えること	
(2) 10年後に残したい吾妻地域の観光資源、自然環境、文化（衣食住・芸能など）について	
8. 利根沼田地域	
(1) 人口減少・高齢化時代の医療・介護等の提供について	
(2) 農業・林業・観光業の振興について	
9. 太田地域	
(1) 製造業の今後について	
(2) 外国人との共生について	
10. 桐生みどり地域	
(1) 繊維産業をはじめとする地場産業の振興について	
(2) 生活基盤や観光振興としての公共交通体系の充実について	
11. 邑楽館林地域	
(1) 台風等洪水時の防災対策について	
(2) 地域の医療提供体制の充実について	

4 主な意見

(1) 地域に感じている政策分野別の課題（2つ選択）と選択した課題を踏まえた地域の10年後の理想の姿（自由記述）について

政策分野別設問	主な意見
1. 防災・危機管理体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・近年自然災害の被害が大きくなってきている。10年後も災害がなくなることはないと思うが、できるだけ被害が小さくなっているといいと思う。(前橋) ・災害時の広域避難や緊急輸送路としての道路網が整備され、住民の防災意識の向上とともに災害に強い地域となしてほしい。(邑楽館林)
2. 中山間地域の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・10年後も現在の人口を維持し、この地域に暮らし充実していると思えるようにしてほしい。(甘楽富岡) ・官民一体となって林業・農業・観光を一体としてとらえた振興により雇用機会を増やし人口流出を抑制、願わくば流入量が増える状態を作り上げる。そのうえで新たなコミュニティを作り上げる。(利根沼田)
3. 地域文化の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと地域の歴史、文化にスポットを当て、大学や就職で地域を離れる前から親しみが持てるよう、地域への愛着が芽生える取組を行って欲しい。いずれは故郷に戻るきっかけに繋がる。(太田) ・もっと身近にもっと自分ごととして、地域の文化を知り、そして関わられるように、垣根を極力減らすのが行政の役割。また、地域ごとに差が出ないように、均衡を図りながら文化を継承しつつ、創造してほしい。(桐生みどり)
4. スポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化社会となっていますが、健康寿命をのばすためにも身体を動かすことが当たり前前の地域性を根付かせるため、様々なスポーツを行うことが出来る公園・グラウンド・施設の整備を実現して欲しい。(前橋) ・いろいろな年齢層が、スポーツを楽しめる環境が整ってほしい。(多野藤岡)
5. 生活の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通や多様な移動手段が確保され、誰もがいつでも気軽に移動できる。(前橋) ・役所や病院を中心にアクセスしやすい場所に人をまとめて、効率よく生活の利便性を高めていく政策が必要だと思う。(桐生みどり)
6. こども政策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもが安心して過ごせる町。不審者対策、登下校時のパトロールの充実、交通事故の起きそうな場所の削減、水路・川等の転落や水害防止策等が行き届いている町。(佐波伊勢崎) ・子供たちが、地元に残ってくれるように中央集中でなく、むしろ地域になじめる中央から離れたところからの子供たちの学びとふれあいを広げていければと思っています。(吾妻)
7. 健康増進	<ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命をのばしていきたい。元気なお年寄りには、もっと活躍の場を与えていくべき。生きることを自由に楽しくできる、退職後にそんな第2の人生が待っていたらいいと思う。(甘楽富岡) ・健康で長生きするためには歩くことが非常に大切です。恵まれた自然を有効に活かしていきましょう。徒歩の魅力を街づくりに活かしていきましょう。車道も歩く道（ハイキングコース）も整備されている地域を後世に残しましょう。(太田)
8. 福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと自立を促して、できるだけ制度に頼らない元気な社会を目指すべきではないだろうか。(前橋) ・国民年金でも安心して入れる老人ホームを作してほしい。(甘楽富岡)
9. 医療の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・超少子高齢社会へ向けての医療、介護支援の充実。(高崎・安中) ・医療施設、病院の充実。病院までの交通手段の充実。(利根沼田)

<p>10. 自然環境保護</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で排出されたプラスチックを回収、油化して再利用する仕組みができてるのが理想です。雑草や生ごみも資源、堆肥やバイオマスガスの原料として市民が持ち込みできる仕組みができてるのが理想です。(高崎・安中) ・耕作放棄地や所有者不在の山林など、人の手が入らない土地が原野化していくと思われる。原野化することを悪とは考えず、生活圏維持をしていくことを望む。必要な土地のみを人間が使えば良いのだと思う。(利根沼田)
<p>11. 森林・林業振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐材や製材所で出た木くずの利用として、カスケード利用の仕組みが来ている。各家庭で伐採した庭木なども回収所に持ち込むとペレットストーブの燃料ペレットやウッドチップと交換できて、除草や照り返し日除け等に使用し循環させているのが理想です。(高崎・安中) ・多用途製造工場（CLT 製造工場並びにベニヤ、コンパネ製造工場）設置による森林資源の活用及び販路の拡大並びに地域の活性化により、地域の働く場の確保、地域林業の振興を図り、地域の特性を生かし発展してもらいたい。(甘楽富岡)
<p>12. 農業振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農業を担う多様な担い手（地元出身者、都市流入者、農業団体、一般企業、NPO 法人）が地域住民と協働して、地産地消を原則とした農業を営んでいる。(前橋) ・利根沼田地域と連携して、植物工場、研究施設等、新農産物創出の拠点に出来たらいい。農水省を機能移転してもらいたい。(北群馬渋川)
<p>13. 産業経済の発展</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・適度に自然と都会が調和した住みやすさ、医療や福祉の充実、子育てのし易さをアピールし大都市からの移住を促進させ、産業経済の中心地として発展していく。(前橋) ・安全安心な地域だと思うので、そのことをアピールして、企業誘致等を積極的に行うことで、10年後には最低でも産業経済を現状維持することが理想である。(甘楽富岡)
<p>14. 観光振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企画・開発したイベントや行事をこの先も守り続けていく為にどうしたら良いのかを今考えることができたなら、10年後、もっと賑やかで素敵な町になっていることだと思います。(多野藤岡) ・今後増えるであろうシルバー人材を活用しながら持続可能な方法で観光産業が盛り上がっていることを期待する。(吾妻)
<p>15. インフラの維持・整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Society5.0 の実現に向け、日本全国どこにいても不自由を感じる事のないネット環境の整備が進む。(多野藤岡) ・高齢者も住みやすいようにバリアフリーに配慮したインフラ整備を実施して、老後も安全に暮らせる街になってほしい。(太田)
<p>16. 教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会経験の豊富なシルバー人材や、若い実業家等を特別講師として招き、世界情勢や経済、芸術等の、教養に注力した勉強を叩き込む必要がある。また、優れた知能を持つ子供には、飛び級は不可能だろうから、専門分野の学習、研究を若いうちから行える施設を設ける、学費補助を行うなどの優遇措置をとる。これにより、裕福な世帯や教養の高い家族が移住するようになれば、仕事や交流を通じて市民のレベルを向上させ、それに影響を受けた市民や、教育を受けた若者の活躍により様々な分野における好循環が期待できる。(前橋) ・他都道府県から、桐生市の学校で子供を教育させたいと思わせるような、独自性のある教育が行われてもよいと思っています。桐生の産業である繊維工業や伝統工芸にちなんだ、教育特区など、富山県高岡市のような取り組みを検討してもよいのではないかと考えます。(桐生みどり)
<p>17. その他</p>	<p><市民活動の支援> NPOなどによる市民活動がある程度活発なので、行政と市民活動の間にさらに信頼関係が生まれることが必要です。なんでもかんでも行政に頼ることはできないので、NPOに事業を任せたり、NPOの独自の活動を多角的に支援する仕組みが必要だと思います。そうすることで、地域の資源（ヒト、カネ、情報）をうまく回して、地域の課題を解決できると思います。(高崎・安中)</p>

(2) 各地域固有の課題について (自由記述)

行政県税事務所別	主な意見
前橋	<p>(1) 赤城山へアクセスしやすい道路の整備や魅力あるイベント開催などが望まれる。また魅力発信の仕方を工夫すべきかと思えます。</p> <p>(2) 郊外大型店舗にも負けない品揃えと無料駐車場の確保、アクセスしやすい道路整備も必要である。</p>
北群馬渋川	<p>(1) 首都圏から短時間で来られるようになった今、日帰りではなく宿泊したくなる「プラスアルファ」が必要です。マイカー利用者だけでなく、鉄道利用+タクシー/路線バスの利用をしてでも行きたくなる場所が必要です。</p> <p>(2) 北群馬渋川地区にはリンゴ、ブドウなどの果樹園も多くあります。しかし、リンゴといえは何処、ブドウといえは何処とどうしても知名度に欠けています。ブランド化はできないもののでしょうか？</p>
佐波伊勢崎	<p>(1) 今後外国人労働者の誘致となれば、異文化との遭遇、交流も当然増加する。これをどうするかは受け手となる我々の問題で、異文化の理解を深める啓蒙活動を学校はもとより、生涯学習の一つとして広めてゆくリーダーシップを行政には期待したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人とも気軽に交流でき、仲良く生活できるような社会になってほしい。
高崎・安中	<p>(1) 県外の人やモノの交流により、群馬人が井の中の蛙から成長することを期待しています。しかし、with コロナ時代においては、感染防止対策の徹底が前提です。</p> <p>(2) とにかく色々な機会を使って知ってもらえないです。これまでやってきているような観光キャンペーンや SNS やロコミの活用しかありません。ただし、大事なのは交流です。誘客した後が大事です。外から来たお客さんと地元の人がかかわりあう仕掛けが必要です。お客さんは旅先の人との会話を楽しんでくれるし、受け入れるほうも、知らない土地のことを知る機会になります。そうすることで、また来てくれるようになり、人の交流が生まれ、地域が活性化します。</p>
多野藤岡	<p>(1) インフラ整備が進み、車でのアクセスが短縮されているため、多野藤岡地域への観光が発展しているとは感じている。しかし、自然を生かした観光だけでは、都市部からの観光者がお金を落とすには事足りていないように感じる。</p> <p>(2) コロナ禍により働き方改革・リモートワークといったことが叫ばれている。またワーケーションなる造語も出てきている。山と川の豊かな自然、静かな環境をアピールした移住政策が適しているのではないかと。</p>
甘楽富岡	<p>(1) もっと甘楽富岡地区の観光資源とセットにして、観光客を甘楽富岡地区に宿泊させて甘楽富岡地区全体で観光客の回遊性を持たせるような施策を甘楽富岡地区市町村全体で連携する必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>(2) 砂防ダムのきめ細かな設置、山林の整備、荒廃した農地の活用等早急に活用する必要があると思えます。</p>
吾妻	<p>(1) 避難場所の確保。正しい情報を誰でも早急に知ること。事態が起きたときの行動指針の確立。日頃からの意識啓発など。</p> <p>(2) 残したい観光資源は、草津、鹿沢、四万などの温泉や八つ場ダム周辺の自然です。また川原湯温泉の湯掛けまつりなども、重要な文化のひとつと考えます。</p>

<p>利根沼田</p>	<p>(1) 医療過疎地であるから、「国の補助金」や「姉妹都市との協定」等を有効活用して、今のうちから積極的に「オンライン診療」を取り入れていくべき。</p> <p>(2) 農業についてもやはり、担い手不足。専業農家は後継ぎの他業種就職により廃業。兼業農家は会社勤めをしていると継続は無理。農業法人化を進め、会社化し、季節収入しかない農業でも年間を通して安定収入が見込める事業化をしないとどんどん減る一方では。林業についても山は荒れ放題。整備等経費をかけても収入で賄えない。木材の買取単価や利用方法を考えないと衰退の一方では。これは観光も同じかと思われる。工夫した事業計画などに国や県が補助金を考えた出し方をしないと個人では資金がないため何も進まないのでは。</p>
<p>太田</p>	<p>(1) ものづくりとサービスが融合した「工業デザイン」の街づくりを目指すべきだと思います。あらゆる物がインターネットと結びついて、物と人が情報によって、密接に生活に取り込まれていく社会が訪れようとしています。太田は、自動車産業を中心に発展してきましたが、製造業という強みを大いに活かしつつも、そこに情報産業の最先端分野を積極的に導入して、街全体を「スマートシティ」とするような構想をとるべきではないでしょうか。車が安全に走行するように、防犯となるように、防災となるように、街のあらゆる場所をインターネットに接続して、リスクを軽減できる安全安心な街づくりを目指しましょう。</p> <p>(2) 外国人の割合が高くなっているのにもかかわらず、多文化共生に関しては遅れている。製造業で働く外国人が多いが、外国人の人達が安心して住めるサポートがまだまだ追いついていないのでは。言葉、生活、教育、災害対策などサポートできる行政の対応とボランティア団体の協力や人材育成が必要。まずは、お互いを知って理解し合えるきっかけづくりが必要である。</p>
<p>桐生みどり</p>	<p>(1) とにかく持ち前の技術や優れた環境があるので、色々な発着想眼で誰でもすぐに起業できるように、行政がネットワークを駆使して手助けし、シャッター商店街を新たな起業家にどんどん貸し出し出来るような取り組みも今以上にすべき。</p> <p>(2) 両毛線、東武線、上毛電鉄の各駅がバラバラにあることが致命的。桐生駅や、この地域に3線の結節点ができれば、都市計画が変わるし、もっと人が増えると思う。路線バスのルートや時間がスマホのアプリで気軽に簡単に調べられたり、無人化するなどして運行本数が増やせたりすれば、利便性が高まると思う。</p>
<p>邑楽館林</p>	<p>(1) 昨年の台風19号のような大規模災害が、今後はもっと頻繁に発生することが予想されるため、広域避難や医療・緊急輸送ルートを考えて場合、千代田町と熊谷市を結ぶ新橋の整備は早急に実施すべきだと思います。</p> <p>(2) この地域では、産婦人科も少ないので、安心して出産、子育てができる地域になってほしいです。</p>